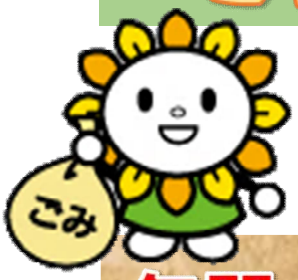
令和8年10月発行　第50号

クルクルごみ減量通信

尾張旭市の雑がみ事情



いろいろな紙製品がリサイクルできる「雑がみ」。
市内ではどれくらいリサイクルができているのでしょうか？
毎年行っているごみの調査をもとに、分別の現状をお伝えします。



年間1000ｔ以上の雑がみがごみに！？

毎年、市で行っている組成調査では、家庭から出る燃えるごみの中で、各地区からランダムに選んだ袋の中身の品目とその割合（重量比）を調べています。

令和7年度の調査では燃えるごみの中に資源ごみは全体の約**30％**含まれており、その中でも古紙類が**半分近く**を占めていました。

さらに、古紙類の中の割合では、**雑がみ**が**6割以上**であり、特にリサイクルされていないことがわかります。

このデータから、年間約**1088t**もの雑がみがそのまま捨てられてしまっていると推定されています。

燃えるごみに含まれる古紙類の割合



減少しない雑がみの割合

減少傾向にあるごみの排出ですが、実は雑がみの割合は減少していません。まずは目の前のごみから、雑がみなどに分別できるものがないか、見直してみませんか？



燃えるごみの中に含まれる雑がみの割合の変化（組成調査結果より）

年度	R4	R5	R6	R7
雑がみの割合	5.9%	6.4%	5.3%	8.6%

雑がみ分別についてはこちらから

担当：尾張旭市環境課ごみ減量係（TEL：0561-76-8135）